2018年11月19日

各　位

不動産投資信託証券発行者名
大阪市北区茶屋町19番19号
阪急阪神リート投資法人
代表者名
執行役員　白木　義章
（コード番号：8977）
資産運用会社名
阪急阪神リート投信株式会社
代表者名
代表取締役社長　白木　義章
問合せ先
ＩＲ・広報部長　吉田　洋
TEL. 06-6376-6823

# 新投資口発行及び投資口売出しに係る価格等の決定に関するお知らせ

阪急阪神リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2018年11月８日開催の本投資法人役員会において決議いたしました新投資口発行及び投資口売出しに関し、本日開催の本投資法人役員会において、発行価格及び売出価格等を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．公募による新投資口発行（一般募集）

| | | | |
|---|---|---|---|
| （１） | 発行価格（募集価格） | １口当たり | 137,377円 |
| （２） | 発行価格（募集価格）の総額 | | 7,418,358,000円 |
| （３） | 払込金額（発行価額） | １口当たり | 132,868円 |
| （４） | 払込金額（発行価額）の総額 | | 7,174,872,000円 |
| （５） | 申込期間 | | 2018年11月20日（火）～2018年11月21日(水) |
| （６） | 払込期日 | | 2018年12月３日(月) |
| （７） | 受渡期日 | | 2018年12月４日(火) |

（注）引受人は払込金額（発行価額）で買取引受けを行い、発行価格（募集価格）で募集を行います。

２．投資口売出し（オーバーアロットメントによる売出し）

| | | | |
|---|---|---|---|
| （１） | 売出投資口数 | | 2,700口 |
| （２） | 売出価格 | １口当たり | 137,377円 |
| （３） | 売出価額の総額 | | 370,917,900円 |
| （４） | 申込期間 | | 2018年11月20日（火）～2018年11月21日(水) |
| （５） | 受渡期日 | | 2018年12月４日(火) |

ご注意:この文書は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようにお願いいたします。

３．第三者割当による新投資口発行（本件第三者割当）

| | | | |
|---|---|---|---|
| （１） | 払込金額（発行価額） | １口当たり | 132,868 円 |
| （２） | 払込金額（発行価額）の総額（上限） | | 358,743,600 円 |
| （３） | 申込期間（申込期日） | | 2018 年 12 月 25 日（火） |
| （４） | 払込期日 | | 2018 年 12 月 26 日（水） |

（注）上記（３）に記載の申込期間（申込期日）までに申込みのない投資口については、発行を打ち切るものとします。

＜ご参考＞

１．発行価格及び売出価格の算定

| | | | |
|---|---|---|---|
| （１） | 算定基準日及びその価格 | 2018 年 11 月 19 日（月） | 143,900 円 |
| （２） | ディスカウント率（注） | 2.50％ | |

（注）ディスカウント率は、算定基準日の投資口価格（株式会社東京証券取引所における本投資法人の投資口の普通取引の終値）から 2018 年 11 月期に係る１口当たりの予想分配金 3,000 円を控除した上で算出しています。

２．シンジケートカバー取引期間

2018 年 11 月 22 日（木）～2018 年 12 月 18 日（火）

３．今回の調達資金の使途

今回の一般募集における手取金（7,174,872,000 円）は、2018 年 11 月８日付「国内不動産信託受益権及び国内不動産の取得、貸借の開始並びに国内不動産信託受益権の譲渡に関するお知らせ」に記載の本投資法人による新たな特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律第２条第１項における意味を有します。以下同じです。）のうち「グランフロント大阪（うめきた広場・南館）（共有持分 4.9％相当）」及び「グランフロント大阪（北館）（共有持分 4.9％相当）」の取得資金に充当します。なお、かかる充当の結果、残余が生じた場合には、本件第三者割当による新投資口発行の手取金上限（358,743,600 円）と併せて、手許資金とし、支出するまでの間は金融機関に預け入れ、将来の特定資産の取得資金、預り敷金・保証金の返還（注）又は借入金の返済資金に充当します。

（注）運用資産の賃借人が差し入れた敷金・保証金の一部については、将来の返還に備えて信託勘定に現預金として留保されますが、信託受託者との合意に基づいて、本投資法人がその一部を利用することが可能となっており、利用している敷金・保証金の一部の信託勘定への返還に充当します。なお、2018 年９月 30 日現在、利用している敷金・保証金は 3,762 百万円です。

以　上

＊　本資料の配布先：兜倶楽部、大阪証券記者クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

＊　本投資法人のウェブサイト　https://www.hankyuhanshinreit.co.jp/

ご注意：この文書は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際には、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようにお願いいたします。